

<主審と副審の役割>

- ・試合前に予め主審と副審を決めておく。（上級審判が主審の方が望ましい）
- ・コイントスは主審が行う。
- ・タイムキーピングは、主審が行う。（試合終了の合図）
- ・主審と副審ともホイッスルを持ち、試合の停止・再開を指示する。
- ・主審と副審は、それぞれ図に示したエリアを移動しながらゲームコントロールを行う。
- ・どちらもフラッグは持たない。
- ・主審と副審で判定が異なった場合には、主審の判定が優先される。ただし、主審と副審のポジションなどを考慮して最終決定をする。
- ・試合中のPKの際には、担当エリアに近い審判がキッカーに対する指示、ゴールキーパーとゴールラインの監視を行う。
（逆側の審判は、守備側のカウンターに注意をしながら、キック前のペナルティーエリアの侵入の監視を行う）
- ・PK戦の場合には、主審がPK戦の進行を行い、副審はセンターサークルでキッカー以外の選手の監視等を行う。
- ・その他の役割分担については試合前の審判打ち合わせで確認しておく。

<ポジショニングの留意点>

- ・主審と副審は常に向かい合うようにポジショニングし、背中を向けることのないよう、ボールの移動に伴ってバックステップで移動する。
- ・主審と副審は、常に争点の監視を行い、状況に応じてラインアウト・オフサイドを監視できるポジションに移動すること。
- ・キックオフ時は、キックオフを行うチームのエンドを主に担当する審判がキックオフの監視を行い、ディフェンス側の審判がオフサイドラインを監視する。

<その他の注意事項>

- ・コーナーキックを行うサイドの指示など、サインだけではわかりづらい場合があるので積極的に声で指示するのが望ましい。
- ・主審と副審は審判服は黒色とする。

